

Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

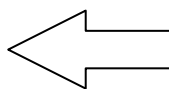
希望は人を成功に導く信仰である。
希望がなければ、
何ごとも成就するものではない。
ヘレン・ケラー

最近耳にする「社会人基礎力」とは？

読んで字のごとく、社会人が基礎的に備えておくべき能力のことで、経済産業省によって「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていくうえで必要な基礎的な能力」と定義された「前に踏み出す力（アクション）」「考え抜く力（シンキング）」「チームで働く力（チームワーク）」の3つの能力の総称です。そして、その「3つの能力」は、さらに「12の能力要素」から成り立っています。（下図：経済産業省HPより）

企業が採用の際に重視している「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」などの能力も、この「社会人基礎力」に含まれます。新規高卒採用者の早期離職者は4割ほどだと言われていますが、その大きな理由の1つが、この「社会人基礎力」の不足だと言われています。

- 学力は決して低くないのに成果が表れない…
- それなりに頑張っているのに、いつの間にか周囲から浮いてしまう…
- 決して悪い人間ではないのに、一緒に仕事したくないと思われている…



高校生の今、

特別な取り組みが必要？

- * 指示待ち人間ではなく「前に一步踏み出せる力」を備えたい。
- * マニュアル人間ではなく「考える力」を持ちたい。
- * 一匹オオカミではなく「チームで協力する力」を身に付けたい。

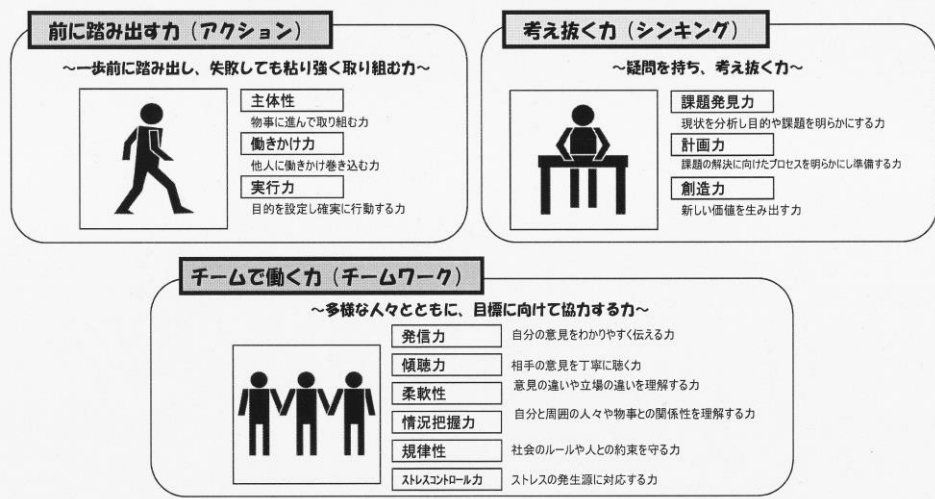


こうして考えてみると、社会人基礎力を高めるために特別な何かをする必要はなさそうです。普段の学習への取り組み、部活動に対する意識、そして学校生活の中での友人関係・上下関係、これらを見直すことで、向上が期待できそうです。

さて、まもなく期末考査。課題を発見→目標を設定→計画→主体性のあるアクション！→粘り強く取り組み→考え抜く！！…そして、チームワーク。さあ早速、始めてみましょう。

心当たりのある人は、どこか「社会人基礎力」が欠けているのかも。一方で、学力や能力は高くないのに周囲と調和を取りつつ、めざましい活躍を見せる人もいますよね。

<3つの能力/12の能力要素>



もちろん、この土台にあるのは、思いやりや公共心、倫理観、基本的マナーなどの「人間性・基礎的な生活習慣」です。

ルールを守る、遅刻をしない、挨拶をする、教室の整理整頓をする、物を大切に…。

新しい学年にも慣れ、緊張感もなくなってきた今、もう一度、自分を振り返ってみよう！！

～教育実習生にインタビュー～

Q、どんな高校生活でしたか？

『とにかく、毎日が部活の顧問の先生との戦いでした…。楽しみは母の手作り弁当！』

Q、大学ではどんな勉強をしていますか？

『ゆるキャラとか、B級グルメを活用して、地域をより良くするための方法を勉強中』

Q、大学で、学問以外で身に付いた事はどんな事ですか？

『それは【行動すること】かな。世界は広く、自分から動くことで得られるものは本当に多くて…。自分の成長を実感できます。』

Q、何かひとこと！

『ありのままの沖高生でいて。その素直さは武器になる！！そして人の温かさ。都会では誰を信じていいかわからず、一人ということを強く感じてしまう。』

泉先生



窪田先生



Q、どんな高校生でしたか？

『毎日楽しく、ソフトテニス部の練習に励んでました♪』

Q、大学ではどんなことを勉強していますか？

『沖縄の音楽を学んでいます。もちろん、西洋のクラシックなども…主に、三線を弾いて琉球芸能の舞台をつくることを学んでいます。さまざまな人との出会いで、コミュニケーション能力が身に付きました。』

Q、沖高生に期待することは？

『【計画を立てて行動できる人】になって欲しいです。計画が目標となり、毎日の活力になります。あと、今を楽しんでください。』

Q、「やっぱり島はいいな」ってどんなところ？

『帰るふるさとが沖永良部という所だけで、心の支えになります。当たり前と思っていることは、実は当たり前でないことがあります。』

Q、高校時代はどんな生徒でしたか？

『数学と英語が苦手。読書が大好きでした。受験生になると、親や先生からそろそろ本じゃなくて教科書を読もうか…と言われてました。』

Q、大学ではどんなことを勉強していますか？

『琉球の歴史や地理、基地や戦争についての平和教育、離島教育など。大学生活を通して、自分の行動に責任を持つことができるようになったと感じています。』

Q、沖永良部を出て、思うこと

『自分のことをよく理解してくれている家族や友人がいて、温かく迎えてくれる地域の人やたくさんの自然に囲まれて過ごせたことは幸せだったと思う。』

Q、沖高生へのメッセージ

『沖永良部の自然と温かい人たちに育てられたことを誇りに思い、何ごとにも挑戦して行って欲しい！そして離れてもふるさとを大事にしてほしいです。』

藤井先生

